

令和5年度第2回学校運営協議会長情報交換会 議事録要旨

日 時 令和5年12月11日（月）9時30分～11時30分

場 所 二宮町役場第1会議室

出席者 出席 12名

- ・二宮小学校 片岡 学校運営協議会長、山内 地域学校協働活動推進員、和田校長
- ・一色小学校 渡邊 学校運営協議会長、橋本 地域学校協働活動推進員、中西校長
- ・山西小学校 井上 地域学校協働活動推進員、北川校長
- ・二宮中学校 加山 学校運営協議会長、石井 地域学校協働活動推進員、伊庭校長
- ・二宮西中学校 藤田校長

町 7名

- ・教育長、教育部長
- ・教育総務課
倉重指導担当課長、高谷課長代理（指導主事）、安藤指導班長（指導主事）、西山主任主事
- ・生涯学習課
山下課長

欠席 2名

- ・山西小学校 泉直彦学校運営協議会長
- ・二宮西中学校 泉直彦会学校運営協議会長

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・資料1 令和5年度 二宮町学校運営協議会長情報交換会名簿
- ・資料2 にのみや学園プロジェクト年間スケジュール
- ・資料3 にのみや学園通信4号～7号
- ・参考資料1 令和5年度 第1回学校運営協議会長情報交換会 会議録

議事録

1 開会	
2 教育長挨拶	
3 小中一貫教育と今後のコミュニティ・スクール	
事務局	・資料2を説明 ・カリキュラム研究授業、ほとんど終わっている。残りは1月の道徳のみ ・子どもたちの交流（小中、小小プロジェクト） ・小中の取り組みは3回（9月10月2月）、効果は大きかった。小学生のアンケート「こ

	の時期で何を学んでいるかを知れてよかった。」 ・小小の取り組み。11月の山西小の1年生が、一色小のほぼ全学年に迎え入れてくれた。 神奈川新聞とタウンニュース ・校内研究プロジェクト、小中で同じ取り組みをしている効果は大きい。子どもが安心して学べる土台づくりをしていきたい。 ・月1で発行。第4回は、英語教育研修会について。文科の専門官が「二宮の先生の雰囲気さえなあ」とおしゃっていた。様々な交流行ってきた成果である。 ・第5号。北川先生執筆。上の写真6年生の授業の様子。子どもたちがタブレットを出して、授業の進行を子どもたちが進めている。主体的、対話的、深い学びになっている。6年生の学びを、5年生以下が6年生の授業を見る機会を設ける。 ・11/22 中地区を対象に、他地区に公開授業した。図工の研究授業を生地にした。2年生で鈴木先生が初めてカッターナイフを扱う授業を行った。中学校で、ステンドグラスの切り絵につながる。2年生に中学生が作成したステンドグラスを小学校で掲示した。作品での小中交流もできた。 ・第7号は、やまびこ教育支援室を取り扱った。ステンドグラスを飾ることができたらいいと思う。やまびこの具体的な内容を、町民の方にも知って頂きたい。
一色小	にのみや学園通信は、6号で「9年間の学び」と書いているが、子どもたちのすでにアピールの仕方を工夫して、もっとわかりやすくしてみてもどうか。 ・英語教育に関しては、二宮町は外国籍の方は少ないが、(学状から)英語の成績がよい。 ・(にのみや学園は)誰向けにだしているのか。
事務局	・二宮町民に向けて発信している。
事務局	・資料3を説明。 ・月1で発行。第4回は、英語教育研修会について。文科の専門官が「二宮の先生の雰囲気さえなあ」とおしゃっていた。様々な交流の成果である。 ・第5号は北川先生執筆。上の写真6年生の授業の様子。子どもたちがタブレットを出して、授業の進行を子どもたちが進めている。主体的、対話的、深い学びになっている。6年生の学びを、5年生以下が6年生の授業を見る機会を設ける。 ・11/22 中地区を対象に、他地区に公開授業した。図工の研究授業を生地にした。2年生で鈴木先生が初めてカッターナイフを扱う授業を行った。中学校で、ステンドグラスの切り絵につながる。2年生に中学生が作成したステンドグラスを小学校で掲示した。作品での小中交流もできた。 ・第7号は、やまびこ教育支援室を取り扱った。ステンドグラスを飾ることができたらいいと思う。やまびこの具体的な内容を、町民の方にも知って頂きたい。
一色小	・にのみや学園通信は、6号で「9年間の学び」と書いているが、子どもたちのすでにアピールの仕方を工夫して、もっとわかりやすくしてみてもどうか。 ・英語教育に関しては、二宮町は外国籍の方は少ないが、(学状から)英語の成績がよい。
事務局	・一地場産デーの紹介
4 情報交換(令和5年の取り組みと、令和6年度の予定について)	

二宮中	・学習支援について。2学期末テストの学習相談に3年生対象の回は50名参加、1・2年生対象の回は106名であり、支援者と教員の交流が多くなった。支援者は、保護者、地域の方、二宮高校の生徒にやってもらっている。 ・学校環境整備について。修繕活動について、廊下の柱のクッションカバーを取り換えた。まだ全部できていないので今後も継続。防災については、地域の方5名に来ていただいて、2年生を対象にパネルディスカッションをしていただいた。メッセージ性のあるものであり、充実したものになった。 ・先生が協議会を活用しようとしているのが伝わってくる。去年は周知の年であったが、今年は先生からの要望が出る様になった。 ・地域との交流を通してにのみや学園の活動を保護者にも伝えていきたい。保護者の存在は大きい。学校運営協議会委員だけでは、とてもできない。支援者として呼び掛けるのではなく、「一緒に子どもを見てみませんか。」という発信をすると来てくれる。
二宮西中	5月16日、7月12日に夏まつりを計画したが、コロナの関係で中止となった。夏まつりがメインだったが、卒業式の花づくりをお願いしたい 来年度は、夏祭りを実施していきたい。この後学校評価のアンケートがあるので、アンケート項目について評議員と話し合って進めていきたい。
二宮小	・今年度は、学校運営協議会とは何か（地域と学校の関係）を確認した。本来の学校協働本部と - 学校の運営協議会の3つの目的を確認した。 ①学校の基本方針の承認 ②学校運営に意見を述べる。 ③地域の方とのつながりをどうもつかを ・運営については、校外安全に、CSの会長として、登下校の安全協議会 ・今年度の課題は個人情報の問題がある。⇒来年度の集団登校の見直しをした。 ・13日の地区長会に、来年度の集団登校について話す。 ・学区に関する説明は、コロナウィルスのため中止 - 学びふれあい、学校と評議員との調整に苦戦している。⇒放課後こども教室の場を借りて、授業とは違った内容を扱う。 ・芸術鑑賞を行った。 ・環境整備会、グラウンドの草取りなどをおこなった ・小中のコミュニケーションをとれるように活動をしていきたい。 ・150周年を迎えた。有志の会で、観光協会と商工会でイベントを行った。飾り付けは、放課後子どもクラブで作成したガーランドを飾った。 ・来年度は、今後反省をして来年度方針を固めていきたい。
二宮小	・2つの柱がある。150周年とにのみや学園の開校について ・子ども放課後倶楽部で、夏休みの体育館が暑く、ラディアンを使用させていただけた。ラディアンを使用することで、中学生や他の小学校との交流を期待した。今年は、中学生に講師を務めていただいた。講師の先生が欠席のときがあった。講師の先生の代わりに中

	学生が行うことができた。 ・塗り絵を、高校生の指導のもと小学生が作成した。 ・ウクレレの野外ステージを行った。 ・地域のイベントに、子どもが参加するようになった。 ・小中学生が一緒にすごすことにより、小学生にとって中学生はあこがれになり、中学生にとって ・小中一貫の周知しきれていないところがあるが、何か体感して欲しい。
二宮小	・登校班について。P T Aの校外が、個人情報をもつことは厳しいのでどのように登校したらよいかを考えた。来年度の4月の登校が始まる。 ・4月は、どこかに集まって登校する。(班長は設けない、通学路を守る) ・5月は、4月にできた登校のグループで登校することも可能である。 ・旗振りは、予約システムで一世帯年間3回以上(学期に1回)可能な限りに行う。 ・旗を学校で貸すか、個人もちにするか。 ・登校のやり方、旗振りのやり方を変えることを説明する。今後、地区長、民生委員などに説明する。 ・150周年について。日頃の授業で、150年を取り扱う。かつての二宮小について取り扱う。
一色小	・持続可能な組織づくりを進めている。 ・地域の方々に参加していただく。 ・不特定多数の地域の方に参加するのは、安全面は大丈夫か。⇒校外で活動する場合は、名札に名前をつける、名簿づくりをする。 ・今見守りをしている方が高齢になっているので、次世代へのつながりをどうするか。 ・見守りを幅広くもつ。(家の前で立つ) ・どういう課題があるのかを話し合った。 ・学校運営協議会のメンバーは学校にでてきていただいて、色々活動をしている。 ・スマイルアート展に、二宮高校の生徒も参加。
一色小	・授業サポート … 1年生のI C Tサポート(パスワード、操作の作業) - 幼保小の交流会、小小交流会(学校の紹介をする。大人の目があるとスムーズに行く。) ・小小の交流で、「みんな同じ1年生なんだよ。」と声かけをすることでにのみや学園としての意識が高まった。 ・各学年の取組として ○3年生 … 豆腐づくり ○4年生 … 福祉を学ぶ。盲導犬を活用。 ○5、6年生 … 調理実習の補助 ○なでいあ級 … やきいも作成 ・休み時間のサポートは、中休み(スマイルルーム、友情の山)、昼休みは、ちょこっと掃除や牛乳パックをリサイクルのための開く補助

	・ちょこっとサポートで、色々な団体に声かけをして ・その他飾り制作（玄関、トイレの前など） ・友情の山…土台を整備していく（草刈りなど、桜や階段の整備など） ・放課後子ども教室 … 高校生や中学生など卒業生も参加する。
一色小	・小小なかよしプロジェクトについて。人数が少ないので、小学校全体でかかわる。山西小の1年生と交流する際には、各学年のかかわりをもつようにしている。2年生が1年生にやっていることを、1年生が幼保にやっている。 ・鯉のいる池のポンプの不具合により、池の様子を見にきたりしている。 ・コミュニティ・スクール、2月16日に研修会を行う予定。
山西小	・学習支援について（活動報告より） ・放課後子ども教室について。児童数が増えてきている。人数が多くなると、サポーターの人数が必要となる。雨天の影響もある。 ・交通安全について、自然塾の方が対応してくださる。 ・12月火起こしと焼き芋をした。 ・人材を二宮町全体で確保できたらよい。
山西小	・PTAは学校と保護者の関係、CSは地域とのかかわり ・緑化活動。卒業式や入学式に咲き誇るような花の手入れ（手間がかかる。） ・山西小のグラウンドの近くにある、近隣の畑でサツマイモを育てた。福祉に生かそうということで、菜の花ウォッチングで販売し、売上を社会福祉協会に寄付しようと考えている。 ・旗振りに、地区代表委員の方に、旗振りのアンケートをとった。旗振りの頻度について見直すことが課題である。地域の駐在所の方に、どのようにしたら安全が確保できるかを相談している。
一色小	・外から見たら「どこかの団体がやっているな」と思われるのはもったいない。にのみや学園としてやっていることをどこかで言えるとよいなと思う。ニュースで、若い世代に伝えることが大切。ストーリー性のあるとよい。 ・旗振りは難しいと思う。個人情報正しく入手することが大切である。学校が見えない関係になってしまう。見える関係だと 相反するような気がする。
二宮小	・旗振りについては、色々と課題がある。
事務局	次回日程について
5 閉会	